

次期愛知県観光振興基本計画（仮称）検討委員会
第1回全体会合 次第

日時：2020年5月18日（月）15：30～

＊ウェブ会議により開催

1 開 会

2 委員自己紹介

3 議 事

（1）次期愛知県観光振興基本計画（仮称）の策定について

（2）次期愛知県観光振興基本計画（仮称）の骨子（案）

4 その他

5 閉 会

（配布資料）

- ・ 資料1 次期愛知県観光振興基本計画（仮称）の策定について
- ・ 資料2 次期愛知県観光振興基本計画（仮称）の骨子（案）
- ・ 資料3 参考資料
- ・ 資料4 次期愛知県観光振興基本計画（仮称）検討委員会設置要綱

（次回）

- ・ PR・プロモーション部会：6月15日（月）15：00～
- ・ 魅力向上・受入れ部会：6月18日（水）10：00～

次期愛知県観光振興基本計画（仮称）検討委員会

第1回全体会合 出席者名簿

●委員

所属・職	氏名
株式会社カーネルコンセプト コンテンツ企画室執行役員室長 中部圏インバウンドセールスプロジェクト 事務局長	赤崎 真紀子
国立大学法人和歌山大学 経済学部 教授	大澤 健
株式会社リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター長	沢登 次彦
西川流四世家元	西川 千雅
名城大学 外国語学部 教授	二神 真美
株式会社行楽ジャパン 代表取締役社長	袁 静
有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役	クリス・グレン
株式会社KADOKAWA 「東海ウォーカー」副編集長	嶋村 光世
名古屋短期大学 英語コミュニケーション学科長	辻 のぞみ
東海学園大学 経営学部 客員教授	横山 陽二

●オブザーバー

所属・職	氏名
名古屋商工会議所 商務交流部 流通・観光・街づくりユニット長	山形 佳史
(一社)愛知県観光協会 専務理事	鈴木 隆

●事務局（愛知県観光コンベンション局）

所属・職	氏名
局 長	芦沢 典幸
観光推進監	武田 光弘
観光振興課 課長	小島 馨
観光振興課 担当課長	多田 花緒里
国際観光コンベンション課 課長	川 義満
国際観光コンベンション課 担当課長	杉本 安信
国際観光コンベンション課 国際展示場室 室長	石田 浩久
国際観光コンベンション課 国際展示場室 担当課長	鈴木 太郎

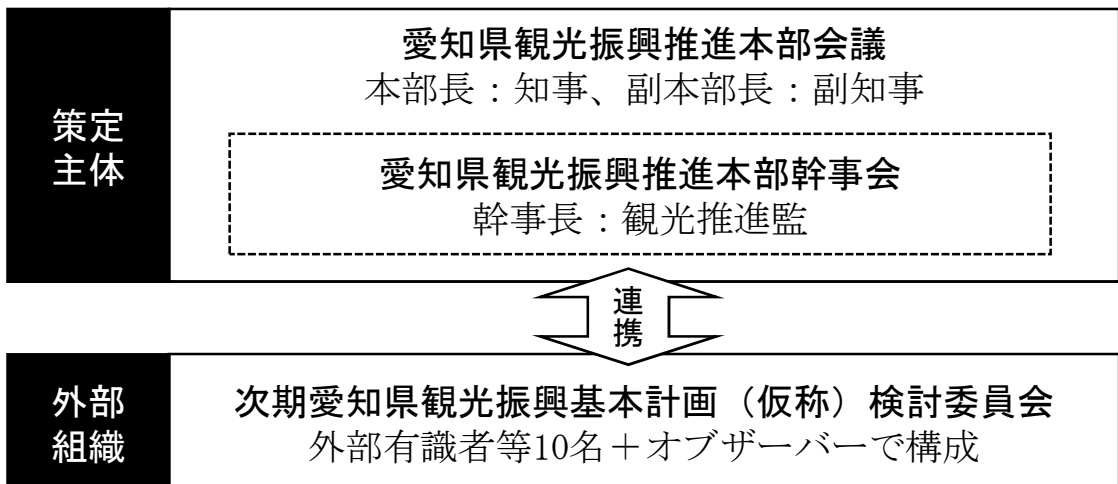
次期愛知県観光振興基本計画（仮称）の策定について

現行の愛知県観光振興基本計画（あいち観光戦略）が2020年度を以って計画期間が満了することから、次期計画を策定する。

※根拠 愛知県観光振興基本条例 第9条第1項

知事は、観光振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、観光振興に関する基本的な計画（以下「観光振興基本計画」という。）を定めるものとする。

○ 策定体制



○ 策定スケジュール

	本部会議	検討委員会（*）
4月	開催	
5月		全体会合①
6月		部会①
7月		
8月		部会②
9月		
10月	パブリックコメント	
11月		全体会合②
12月	<p>開催（策定） ↳ 12月議会で報告</p>	

（*）検討委員会は、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、書面やウェブ会議等での開催を検討。

次期愛知県観光振興基本計画の骨子（案）

計画の位置づけ

- ①愛知県観光振興基本条例に基づく観光振興に関する基本的な計画
 ②「次期あいちビジョン」の個別計画であり、観光振興分野の具体的な施策を示すアクション・プログラム。

計画の性格

県内の観光関連産業の振興を図ることを目的として、旅行者の受入れの主役は、地域と事業者であるという認識のもと、具体的な施策をまとめたアクション・プログラムとする。

計画期間

2021年度～2023年度（3年間） *2040年頃までを展望し、2023年度までに取り組む施策の方向性と主な施策を示す。

観光に係る
展望・状況等

社会経済情勢の変化

- ◆ 人口減少の進行・人生100年時代の到来
- ◆ 第4次産業革命の進展
- ◆ 雇用の二極化、働き方の多様化
- ◆ 世界経済の多極化、SDGsの理念が世界に定着
- ◆ 感染症の拡大による行動態様の変化

国の動き「明日の日本を支える観光ビジョン」

- ◆ 観光資源の魅力を高め、「地方創生」の礎に
- ◆ 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に
- ◆ すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

現行計画のふりかえり

- ◆ 「あいち観光元年」宣言により、県内各地で観光への取組みが加速
- ◆ 「観光県」としての地位確立は道半ば
- ◆ 愛知県らしい観光資源のテーマ化が定着

観光の量的・質的变化

- ◆ インバウンド誘致の地域間競争の激化
- ◆ 「モノ」から「コト」へ、さらに「トキ」と「感動」を重視した旅行へ
- ◆ 旅マエ・旅ナカ・旅アトのすべてのフェーズでデジタルが台頭

愛知県の観光を取り巻く大型プロジェクト

- ◆ 2022年秋 ジブリパーク開業
- ◆ 2025年 大阪・関西万博開催
- ◆ 2026年 第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）開催
- ◆ 2027年度 リア中央新幹線(品川～名古屋)開業

愛知県における観光の状況

- ◆ 来県者数は徐々に増加
- ◆ 観光消費額は伸び悩み傾向
- ◆ 県民の推奨意向は低いまま
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響による急激な需要減

課題解決のために

基本的な視点

観光県あいちとしての魅力確立

愛知ならではの資源を磨き上げ訴求していくことで、観光県としての魅力を訴求・確立する。

EBPM(*)とターゲット設定

エビデンスに基づき、国や地域ごとに施策を形成し、あわせてターゲットを明確にする。

デジタルの活用

情報発信のみならず、調査や効果測定等、様々な場面で積極的にデジタルを活用する。

ジブリパーク開業効果の最大化への寄与

ジブリパーク来場者に対し、愛知県内での宿泊や周遊を促進する施策を形成する。

* Evidence-based Policy Making：エビデンスに基づく政策立案

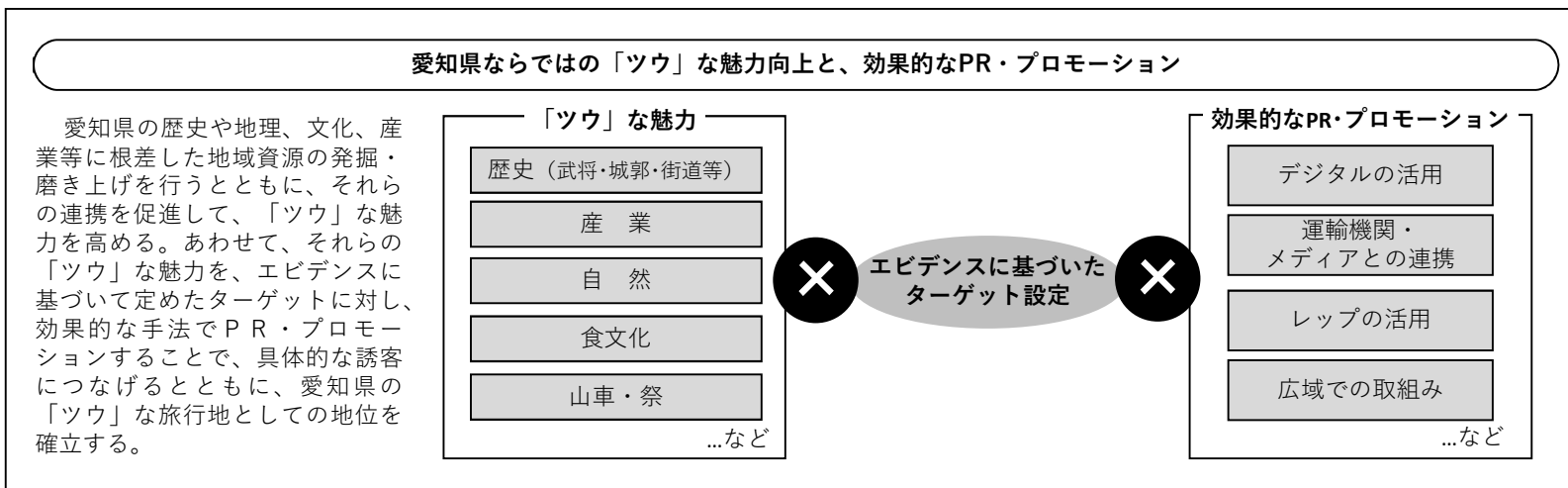
目指すべき姿

～“Heart” of JAPAN セカンドステージ～

あいち「ツウ」リズムの推進で独自の強みを発揮する「観光県」

- ①地域資源の磨き上げとテーマに沿った連携を促進することで、旅行者に感動を与えられる「ツウ」な魅力を高める。
- ②あいちならではの「ツウ」な魅力を、デジタル等を活用し、世界中にいるそれぞれの関心層に届ける。
- ③「ツウ」な魅力をフックにして、周遊促進や宿泊誘導を図り、関連産業の活性化につなげる。

施策の展開領域と
主な柱



MICEを通じた誘客

国際会議やインセンティブツアー、見本市やスポーツ大会などのイベントを誘致・開催するとともに、それらを開催できる場を提供することで、交流人口の増大を図る。

国際観光都市の形成	国際会議の誘致・開催
インセンティブツアーの誘致	イベントの誘致・開催

持続可能な受入れ体制の整備・充実

持続可能性に留意しながら、旅行者の立場に立った受入れ体制の整備・充実を進めて利便性・安全性の向上を図り、観光消費額の増大や満足度の向上を実現する。

モビリティ・マネジメント	コミュニケーション円滑化
ユニバーサルツーリズム推進	多様な宗教・生活習慣への対応
ガイドスキル向上	旅行者の安心・安全

人材育成と観光イノベーションの促進

地域の観光振興を担う中核人材の育成の場と、新たなサービス・コンテンツを生み出すイノベーションを促進する場を創造する。

EBPMの推進	関係者間の交流促進
学びの場の提供	産学官連携の推進
多様な産業の巻き込み	アワードの実施

KPI

①地域資源の磨き上げとテーマに沿った連携を促進することで、旅行者に感動を与えられる「ツウ」な魅力高める。

「歴史」関連施設等 利用者数	「産業」関連施設等 利用者数	「自然」関連施設等 利用者数	「食文化」関連施設等 利用者数	「山車・祭」関連施設等 利用者数
-------------------	-------------------	-------------------	--------------------	---------------------

②あいちならではの「ツウ」な魅力を、デジタル等を活用し、世界中にいるそれぞれの関心層に届ける。

満足度 (国内客・海外客)	再訪意向 (国内客・海外客)	推奨度 (県民・国内客・海外客)	公式観光サイトPV数 (言語別)	公式観光SNSファン数 (媒体・言語別)
------------------	-------------------	---------------------	---------------------	-------------------------

③「ツウ」な魅力をフックにして、周遊促進や宿泊誘導を図り、関連産業の活性化につなげる。

観光消費額 (国内客・海外客)	観光入込者数 (国内客・海外客)	来県者数 (国内客・海外客)	延べ宿泊客数 (国内客・海外客)	滞在日数 (国内客・海外客)	国際会議開催件数
--------------------	---------------------	-------------------	---------------------	-------------------	----------

第1回
次期愛知県観光振興基本計画（仮称）検討委員会
全体会合

参 考 資 料

目次

1 世界と日本の観光の状況

- 1-1 世界各国・地域への外国人訪問者数
- 1-2 日本人による国内旅行の推移

2 本県に係る各種数値指標の推移

- 2-1 延べ宿泊旅行者数
- 2-2 外国人旅行者数
- 2-3 観光レクリエーション資源・
施設利用者総数
- 2-4 観光消費額
- 2-5 滞在日数
- 2-6 国際会議の開催件数
- 2-7 満足度の推移
- 2-8 観光地としての魅力度の推移
- 2-9 推奨意向の推移

3 県政世論調査・WEB調査の結果概要

- 3-1 県民が考える県外への観光推奨内容
- 3-2 県外在住者が愛知県を訪れた際の印象
- 3-3 県外在住者のポスターへの反応
- 3-4 県外在住者の愛知県へのアクセス方法

4 愛知県の観光を取り巻く今後の出来事

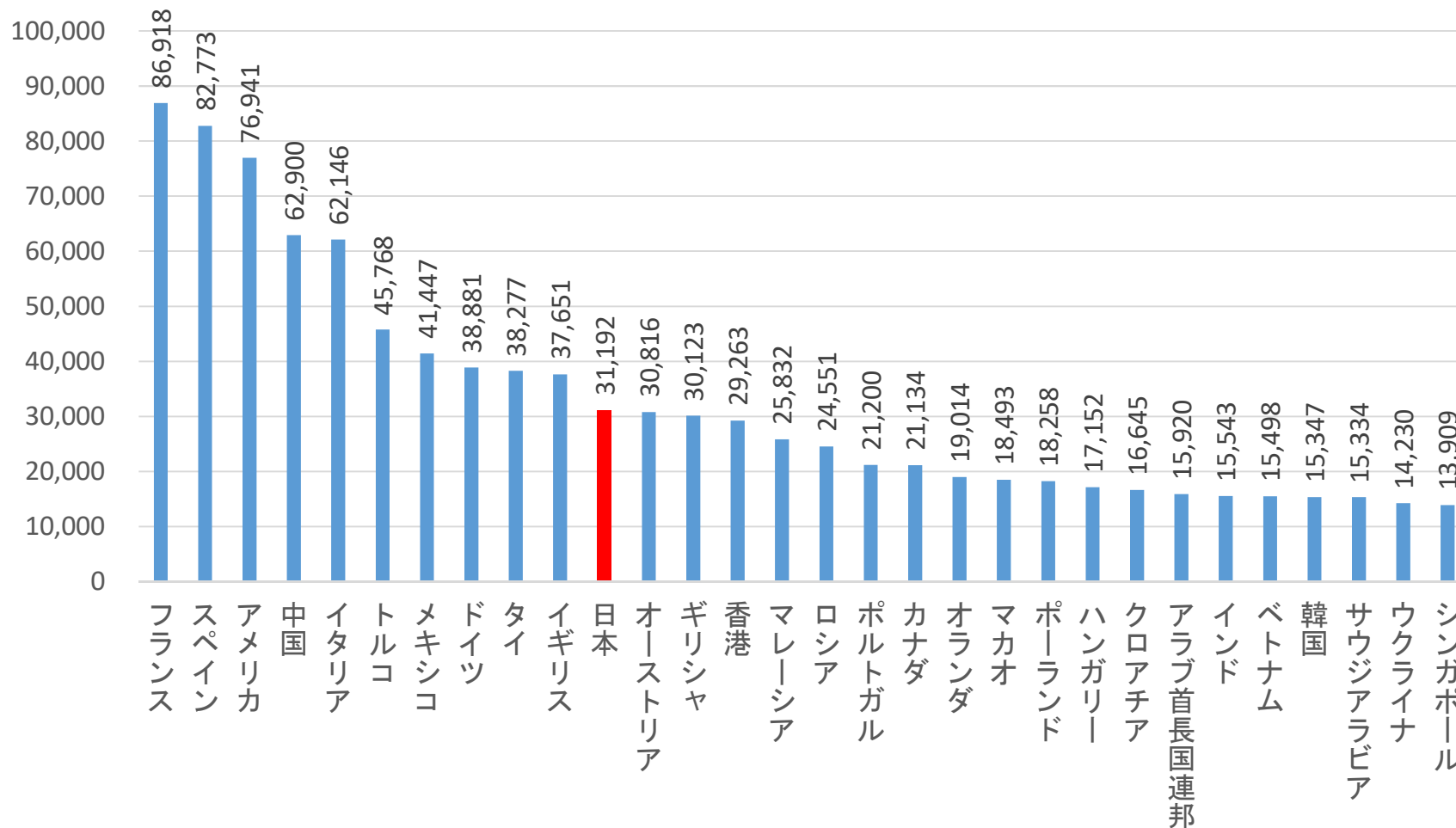
- 4-1 愛知県の観光を取り巻く今後の出来事

1-1

世界と日本の観光の状況

世界各国・地域への外国人訪問者数（2018年）

上位30か国のランキング（単位：人泊）。



*一部の国は、2018年の数値が公表されていないため、それ以前の数値を採用。

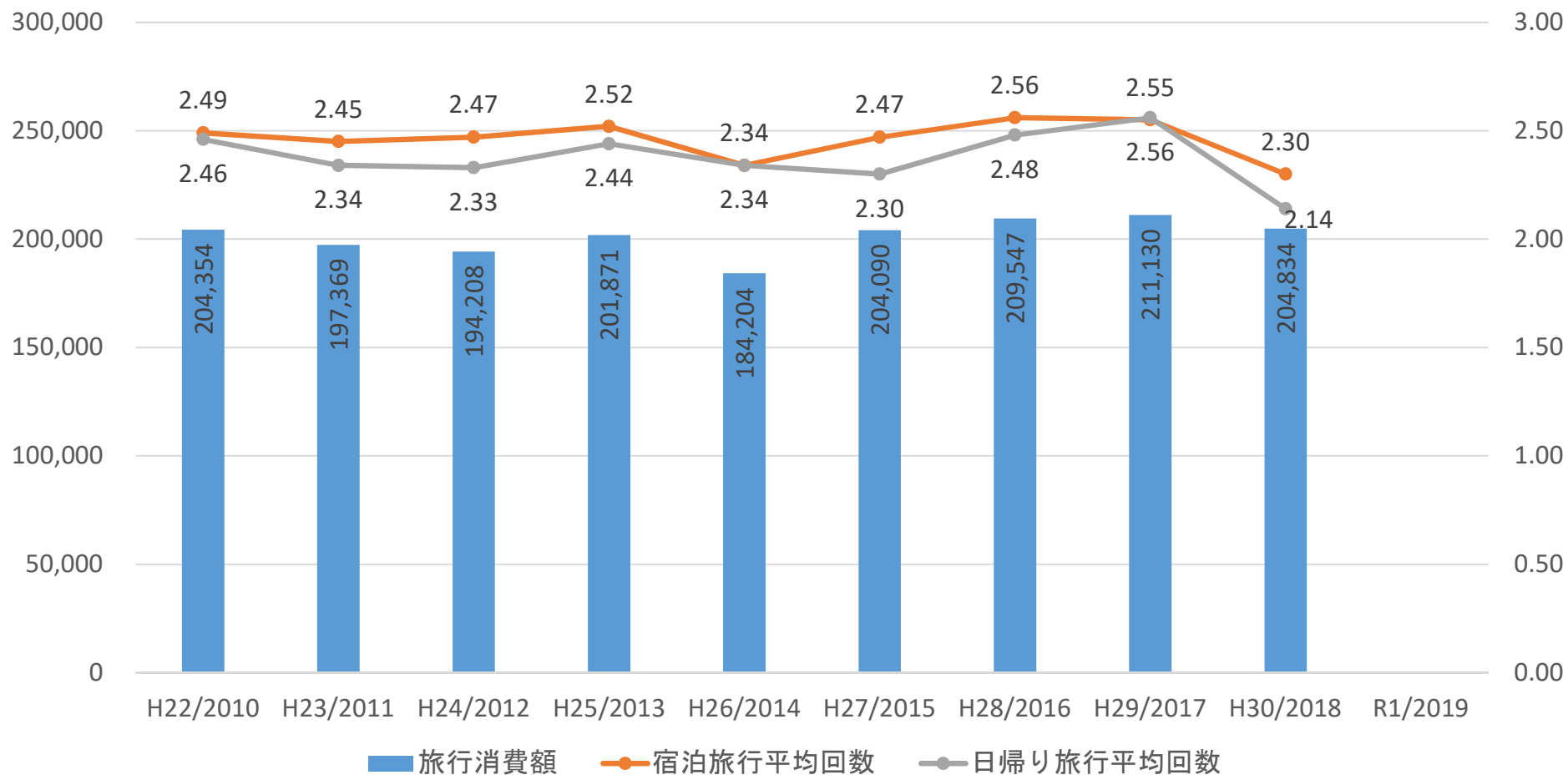
国連世界観光機関（UNWTO）の統計より日本政府観光局（JNTO）が作成（一部抜粋）

1-2

世界と日本の観光の状況

日本人による国内旅行の推移

旅行消費額（単位：百万円）、宿泊旅行平均回数（単位：回）、日帰り旅行平均回数（単位：回）。

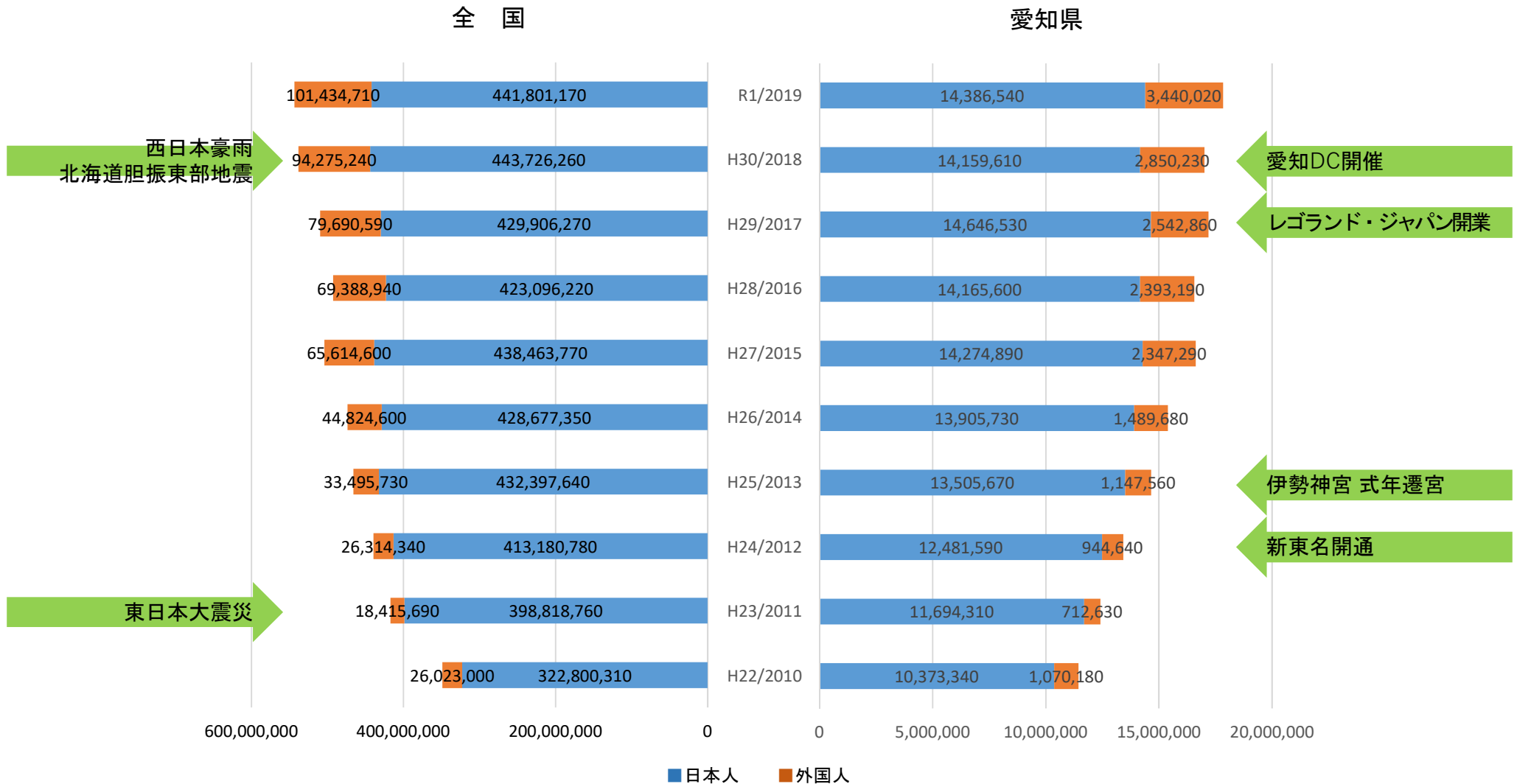


(観光庁「宿泊・旅行統計調査」)

2-1

本県に係る各種指標の推移 延べ宿泊旅行者数

国内及び県内に宿泊した旅行者の延べ数（単位：人泊）。



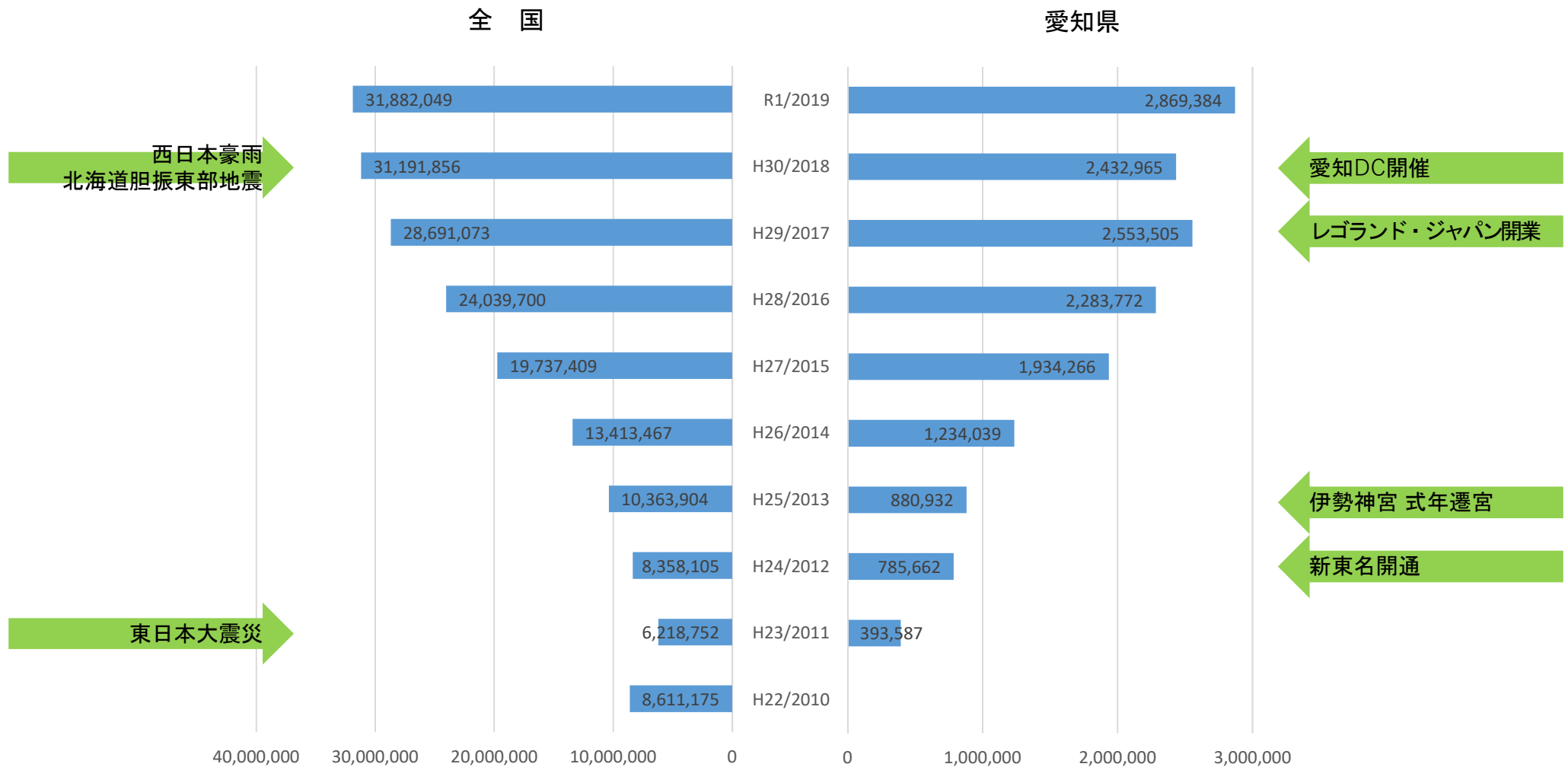
* 平成22年（2010）は、従業者数10名以上の施設のみの集計。

（観光庁「宿泊旅行統計調査」）

2-2

本県に係る各種数値の推移 外国人旅行者数

日本を訪れた外国人旅行者数と、その数値に愛知県訪問率を掛けて算出した愛知県を訪れた外国人旅行者数（単位：人）。



* 平成22年（2010）の愛知県の数値は未調査。

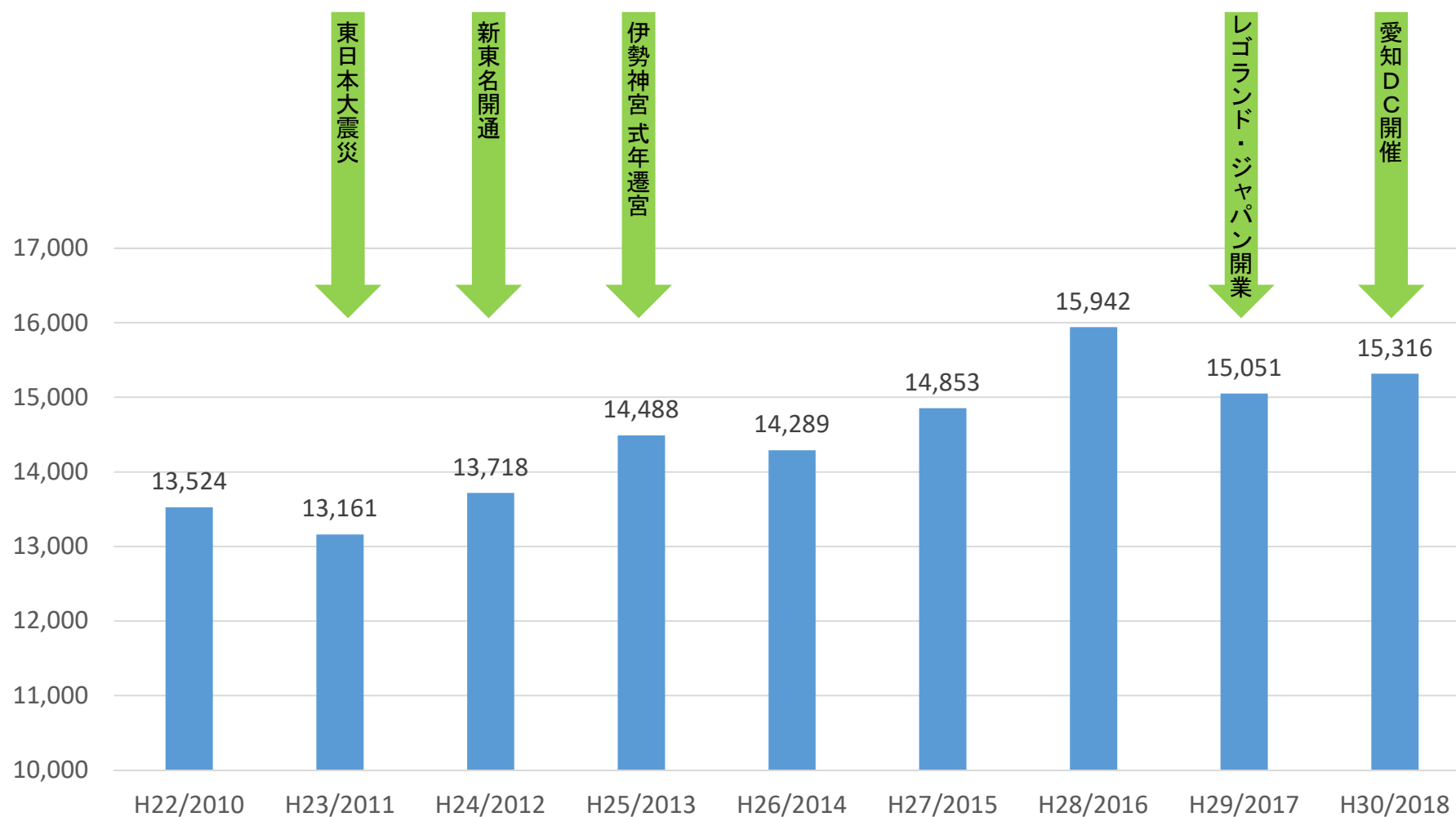
* 平成23年（2011）の愛知県の数値は、4-12月のみの集計。（日本政府観光局「訪日外客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」より作成）

2-3

本県に係る各種指標の推移

観光レクリエーション資源・施設利用者総数

県内にある観光施設やイベント等の来場者数の合計（単位：万人）。



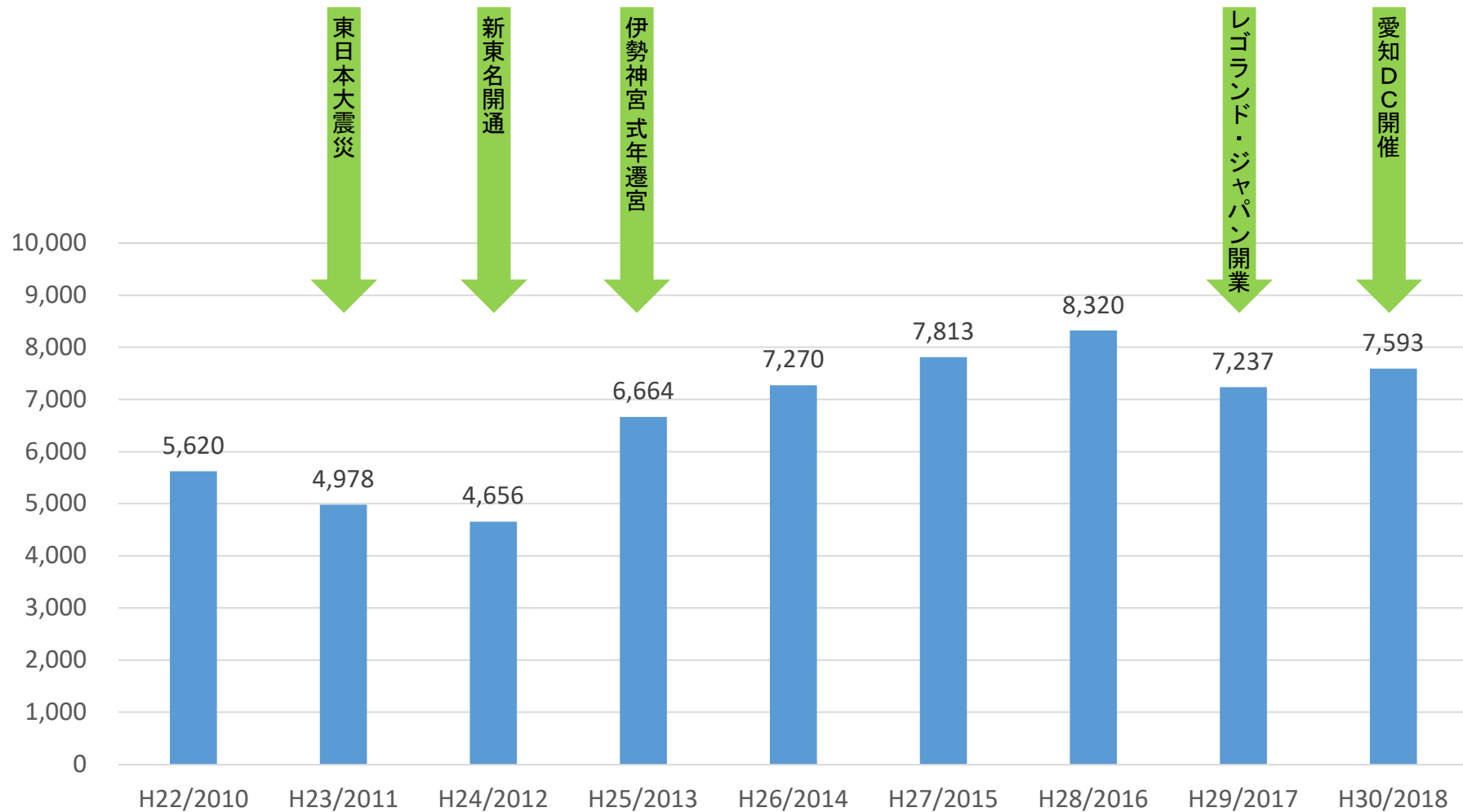
（愛知県「観光レクリエーション利用者統計」）

2-4

本県に係る各種指標の推移

観光消費額

愛知県を訪れた旅行者が県内で消費した金額（単位：億円）。

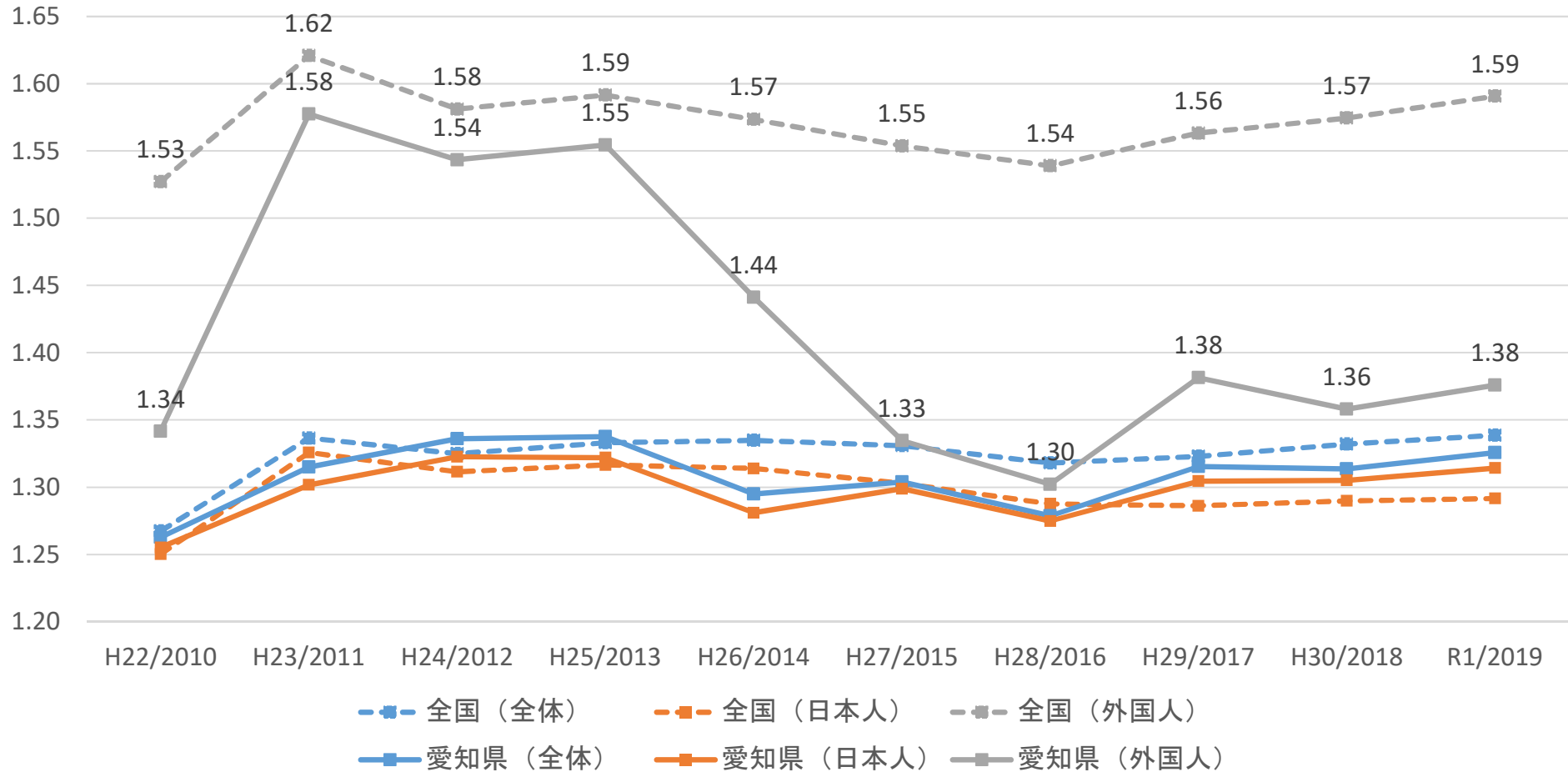


(愛知県「観光入込客統計」)

2-5

本県に係る各種指標の推移 滞在日数

延べ宿泊客数（人泊）を実宿泊客数（人）で除した数値（単位：泊）。



* 平成23年（2011）の愛知県の数値は、4-12月のみの集計。
* 平成31/令和元年（2019）の数値は速報値。

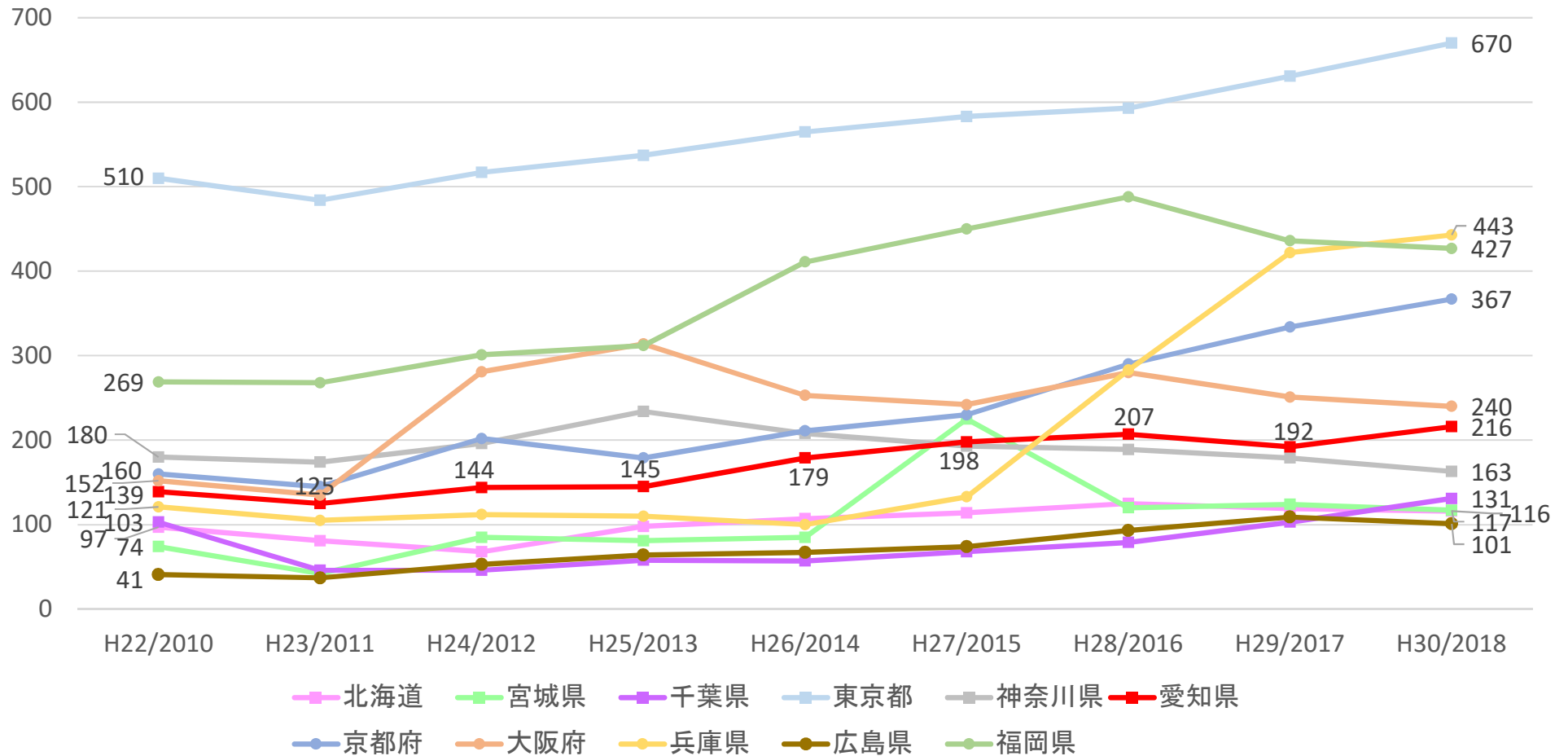
（観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成）

2-6

本県に係る各種指標の推移

国際会議の開催件数

国際機関・国際団体、または国家機関・国内団体（民間企業を除く）が主催する、参加者総数50名以上、参加国3か国以上の会議（単位：件）。



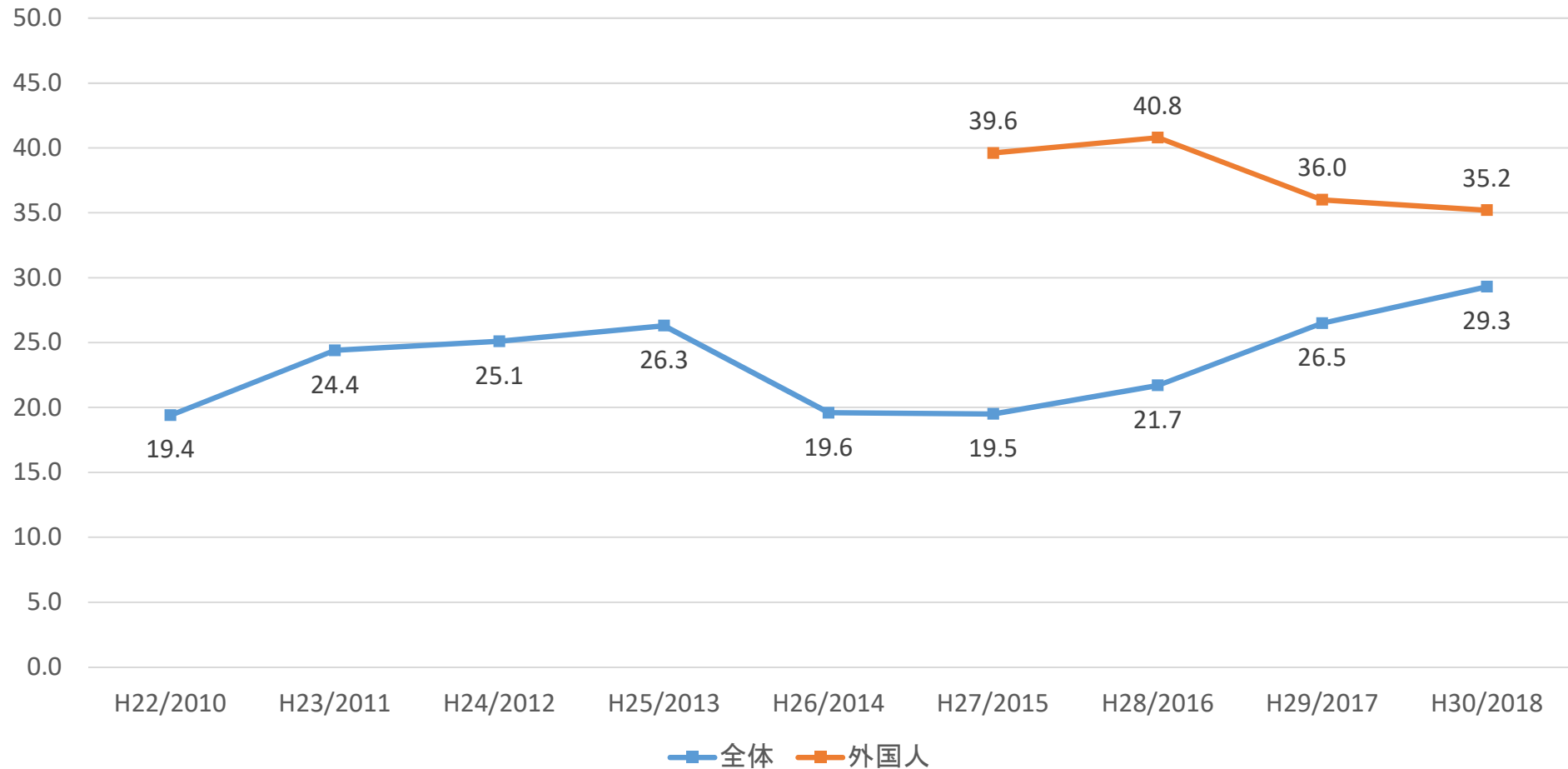
（日本政府観光局「国際会議統計」）

2-7

本県に係る各種指標の推移

満足度の推移

「非常に満足」の割合（単位：％）。



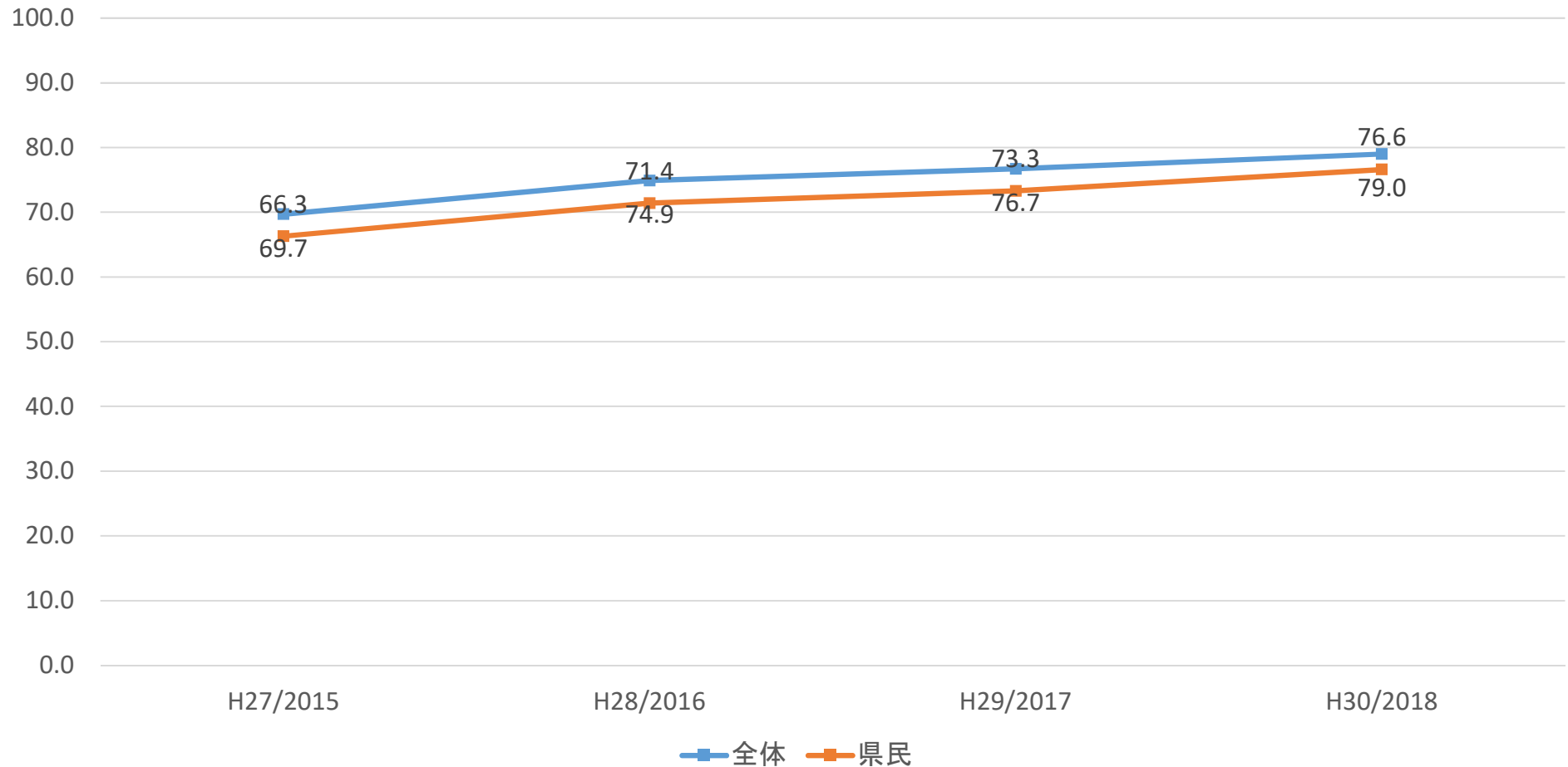
（愛知県「観光地実態調査」、愛知県「訪日外客動向調査」）

2-8

本県に係る各種指標の推移

観光地としての魅力度の推移

「非常に満足」の割合（単位：％）。



* 平成27年（2015）の数値は、4-9月のみの集計。

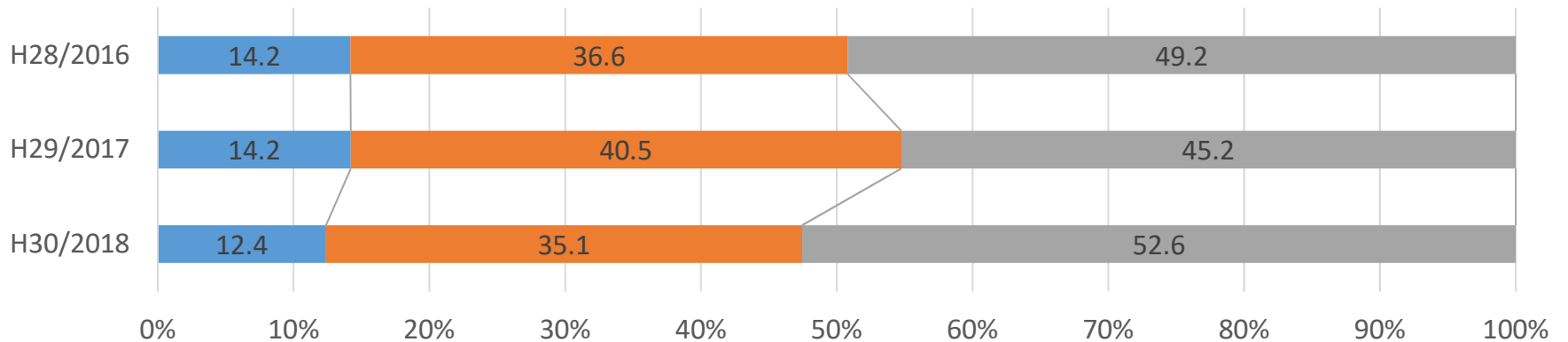
（愛知県「観光地実態調査」）

2-9

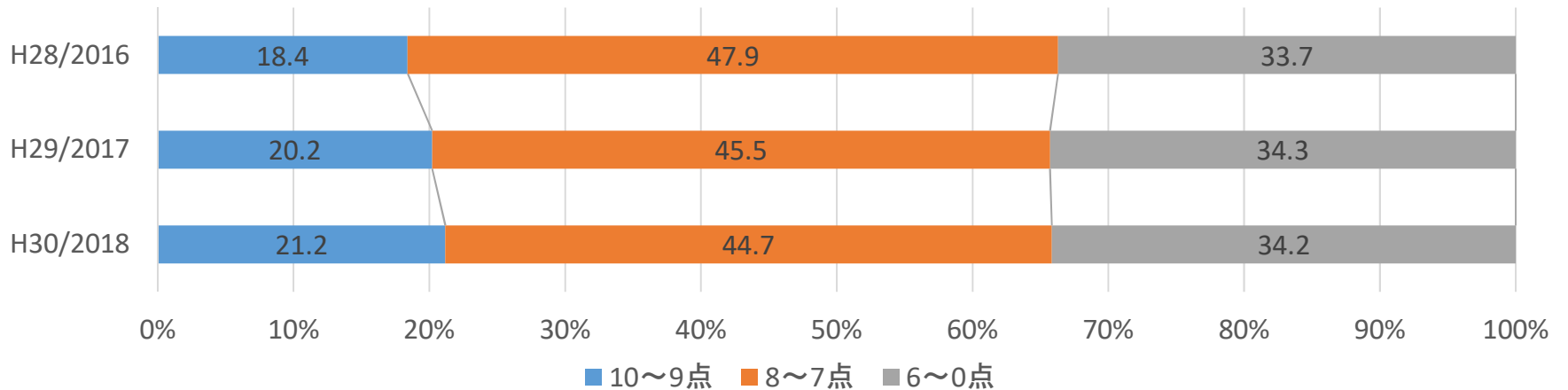
本県に係る各種指標の推移 推奨意向の推移

愛知県への観光を「全く薦めない」を0点、「とても薦めたい」を10点として点数を尋ねた結果（単位：％）。

県内在住者



県外在住者



（愛知県「観光地実態調査」）

Net Promoter Score(R)（顧客推奨度）の指標を採用。

10～9点 ロイヤルティが高い熱心な顧客。自らが継続購入客であるだけでなく、他者へサービスを勧める『推奨』の役割も担う。

8～7点 満足はしているが、それ程熱狂的ではなく、競合他社になびきやすい。

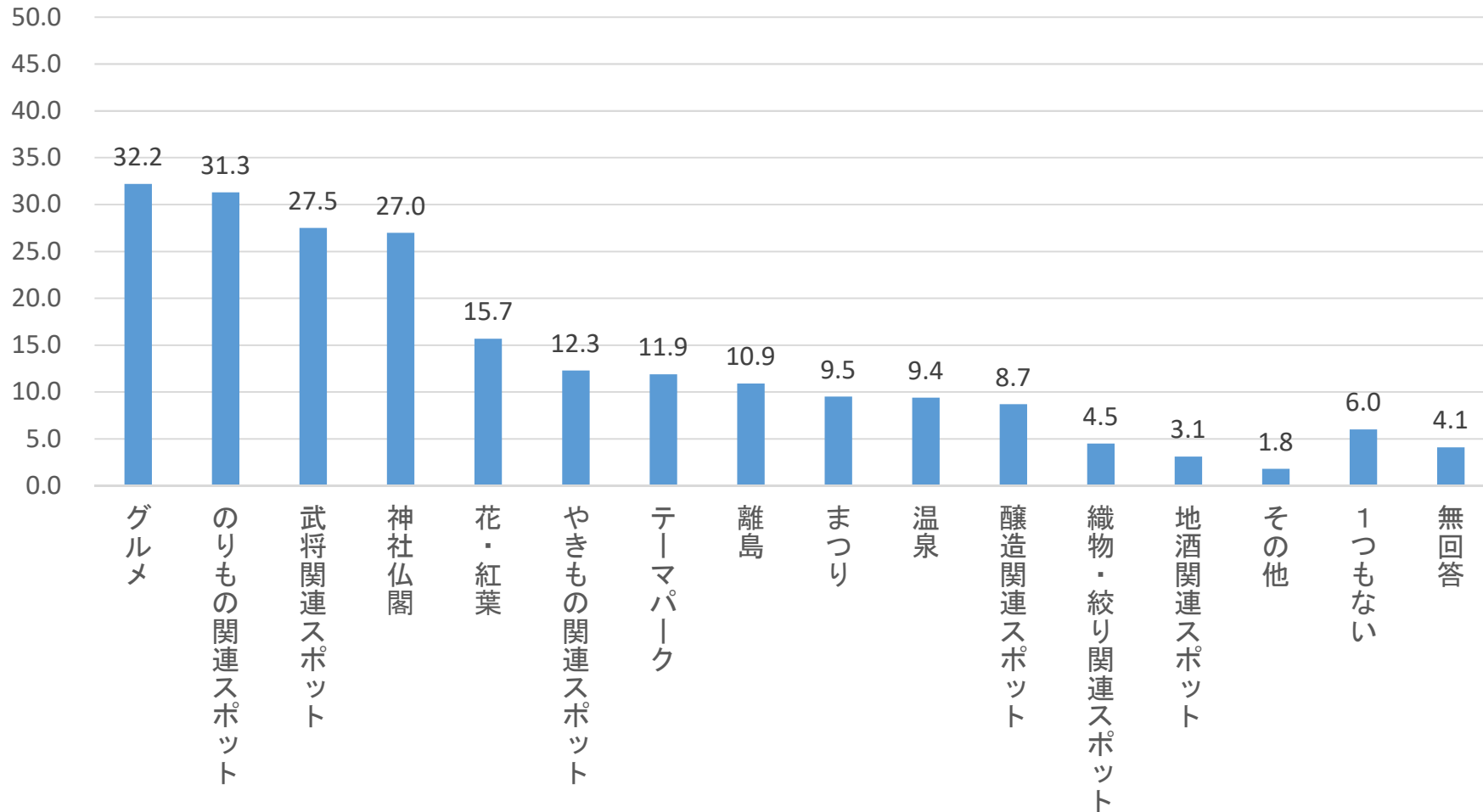
6～0点 劣悪な関係を強いられた不満客。放置しておくと思評を広める恐れがある。

3-1

県政世論調査・WEB調査の結果概要

県民が考える県外への観光推奨内容

県民が県外在住者に薦めたい観光資源（上位3つまで）（単位：％）。



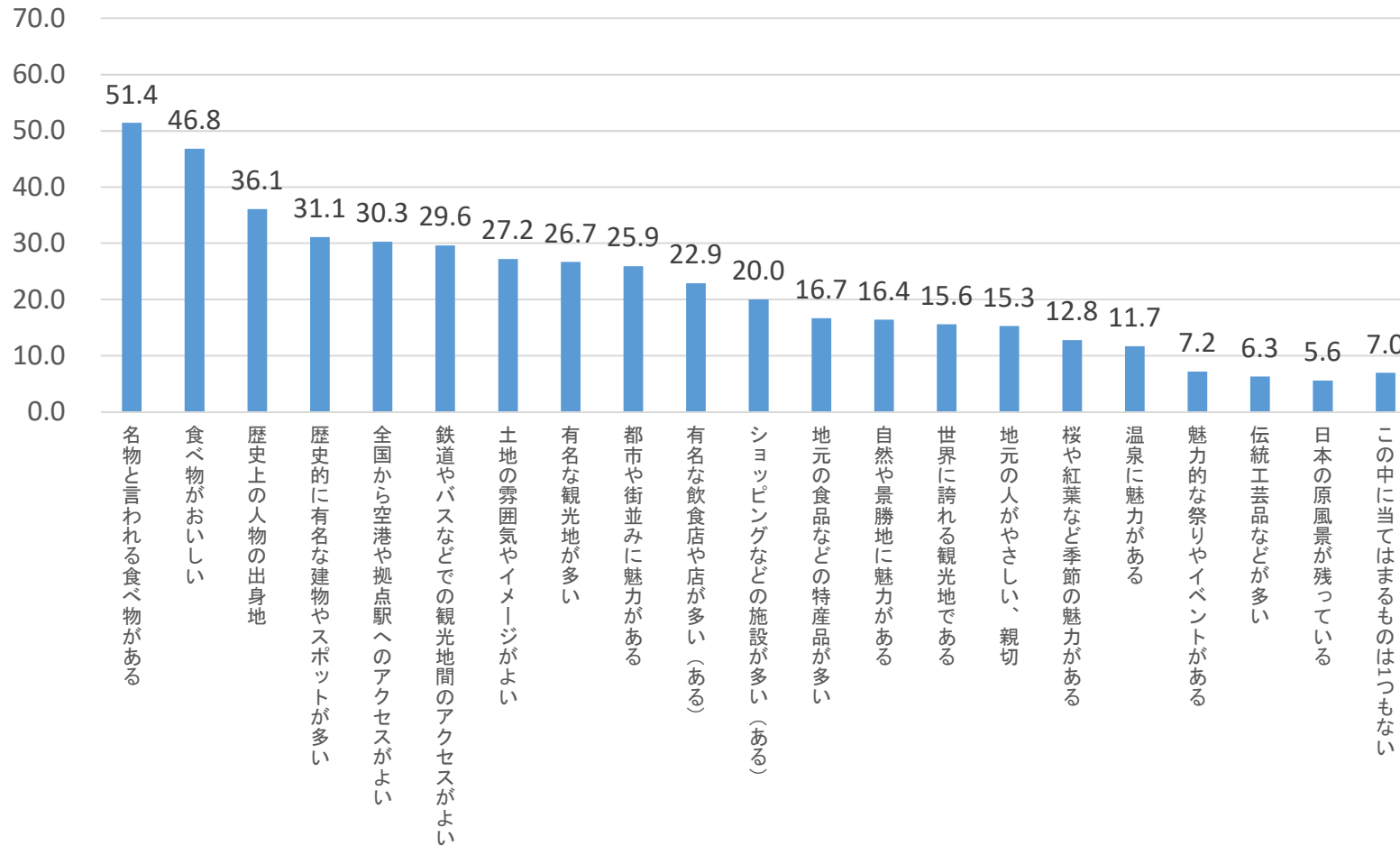
（愛知県「次期愛知県観光振興企保計画の策定に係る調査事業」のうち、「県政世論調査」）

3-2

県政世論調査・WEB調査の結果概要

県外在住者が愛知県を訪れた際の印象

県外在住者が愛知県を訪れてどのような印象を持ったか尋ねる質問への回答（複数回答）（単位：％）。



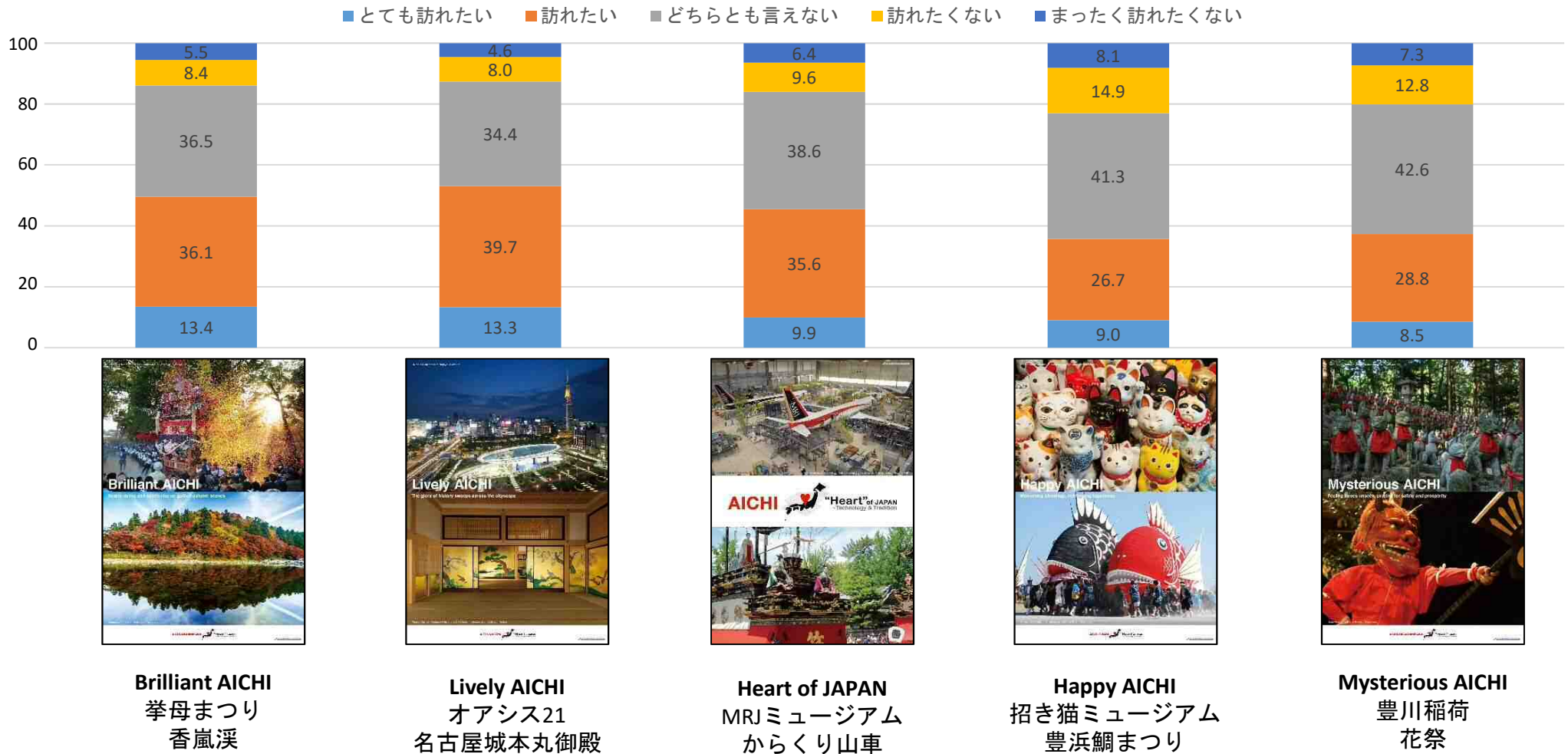
（愛知県「次期愛知県観光振興企保計画の策定に係る調査事業」のうち、「WEB調査」）

3-3

県政世論調査・WEB調査の結果概要

県外在住者のポスターへの反応

県外在住者に、本県制作の5連シリーズポスターを見せ、その反応を調査（単位：％）。



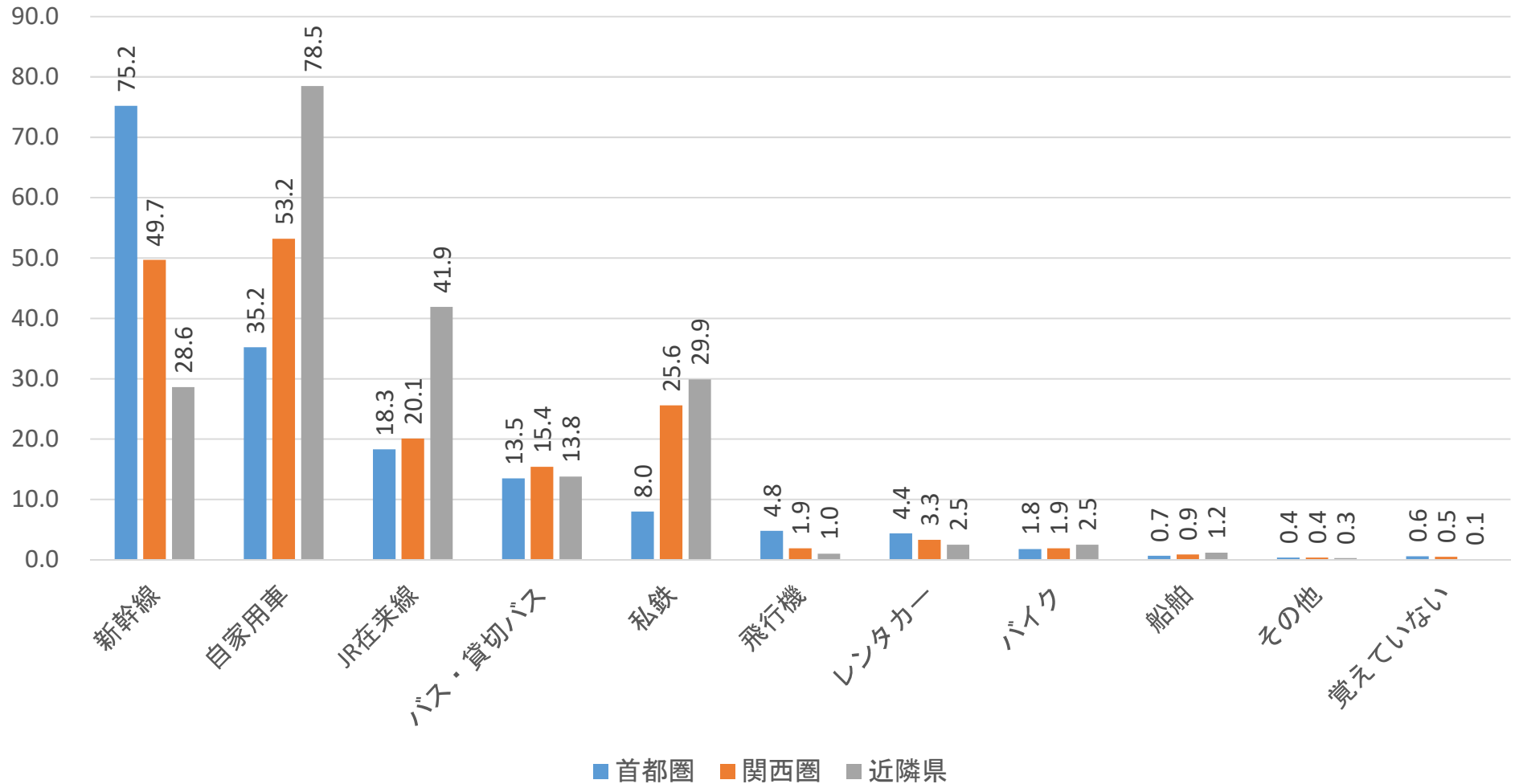
（愛知県「次期愛知県観光振興企保計画の策定に係る調査事業」のうち、「WEB調査」）

3-4

県政世論調査・WEB調査の結果概要

県外在住者の愛知県へのアクセス方法

県外在住者が愛知県を訪れた際に利用した交通手段を尋ねる質問への回答（複数回答）（単位：％）。



（愛知県「次期愛知県観光振興企保計画の策定に係る調査事業」のうち、「WEB調査」）

4-1

愛知県の観光を取り巻く今後の出来事

観光資源・拠点

- 2020年6月 名古屋刀剣博物館開業
- 夏 名古屋テレビ塔リニューアル
- 秋 あいち朝日遺跡ミュージアム開館
- 2021年度下期 ホテルインディゴ 犬山 有楽苑開業
- 2022年秋 ジブリパーク開業(予定)[先行3エリア]
- 2023年度 ジブリパーク全面開業(予定) [全5エリア]
- 2028年 (時期未定) 尾張名古屋歴史博物館(仮称)完成
名古屋城木造復元竣工

交通

- 2027年度 リニア中央新幹線(品川-名古屋)開業
名古屋駅のスーパーターミナル化
- (時期未定) 三遠南信道愛知県区間全通

大規模イベント・スポーツ大会

- 2020年秋 ロボカップアジアパシフィック
2020あいち開催
技能五輪全国大会・全国アビリンピック開催
- 2021年度 ワールドロボットサミット2020開催
- 2021年夏 東京オリンピック・パラリンピック開催
- 2025年春～ 大阪・関西万博開催
- 2026年秋 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)開催

歴史

- 2022年 柴田勝家 生誕500年(諸説あり)
- 2024年 高台院(ねね)没後400年
福島正則 没後400年
- 2025年 大樹寺 創建550年
長篠の戦い 450年
- 2026年 蜂須賀正勝 生誕500年
- 2027年 酒井忠次 生誕500年
- 2028年 生駒吉乃 生誕500年
於大の方 生誕500年

メディア

- 2020年1月～ NHK大河ドラマ「麒麟がくる」(信長ら県出身武将や県内史跡が多数登場)
- 3月～ NHK連続テレビ小説「エール」(ヒロインの出身地が豊橋市)
- 2021年 NHK大河ドラマ「青天を衝け」(主人公渋沢栄一ゆかりの事業や足跡が多数)

次期愛知県観光振興課（仮称）検討委員会 設置要綱

（目的）

第1条 愛知県観光振興基本条例（平成20年条例第48号）に基づく観光振興基本計画の第三期計画を策定するため、有識者等による、次期愛知県観光振興課（仮称）検討委員会（以下「委員会」という。）を設置し、愛知県の観光振興に関する基本戦略や先導事業等について提言を行う。

（所掌事項）

第2条 委員会は、次に掲げる事項について、協議及び検討を行う。

- （1）愛知県を取り巻く観光の現況に関すること
- （2）愛知県の観光戦略に関すること
- （3）愛知県の観光振興に資する施策に関すること
- （4）その他、第1条の目的の達成に関すること

（構成）

第3条 委員会は、別表1に掲げる委員、及び別表2に掲げるオブザーバーにより構成する。

（委員長等）

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は委員会を総括し、会議の進行にあたる。
- 3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故等があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 会議は、愛知県観光コンベンション局長が招集する。

（部会）

第6条 委員会の下に、魅力向上・受入れ部会、PR・プロモーション部会の2部会を設ける。

- 2 部会の構成メンバーは、別表に掲げる委員により構成する。
- 3 部会に部会長を置く。
- 4 部会には、他の部会委員又はその部会が必要とする有識者等が、適宜議事に参加できるものとする。
- 5 部会は、愛知県観光コンベンション局観光振興課長（以下「課長」という。）が召集する。

（公開）

第7条 会議は、原則として公開するものとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りでない。

- (1) 愛知県情報公開条例（平成12年愛知県条例第19号）第7条に規定する不開示情報が含まれる事項に関して協議、検討等を行う場合
 - (2) 会議を公開することにより、当該会議の円滑な運営に著しい支障が生じたと認められ、委員長、部会長又は課長が会議等の一部又は全部を公開しない旨を決定した場合
- 2 会議の傍聴方法については、別に定める。

（庶務）

第8条 会議等の庶務は、愛知県観光コンベンション局観光振興課において処理する。

（雑則）

第9条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、委員長又は部会長がその都度定めるものとする。

附 則

この要綱は、令和2年4月13日から施行し、平成2年12月31日をもって廃止する。

(別表1)

所属・職	氏名	部会
株式会社カーネルコンセプト コン テンツ企画室 執行役員室長 中部圏インバウンドセールスプロジ ェクト 事務局長	赤崎 真紀子	魅力向上・受入れ
国立大学法人和歌山大学 経済学部 教授	◎ 大澤 健	魅力向上・受入れ
株式会社リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター長	沢登 次彦	魅力向上・受入れ
西川流四世家元	西川 千雅	魅力向上・受入れ
名城大学 外国語学部 教授	二神 真美	魅力向上・受入れ
株式会社行楽ジャパン 代表取締役社長	袁 静	PR・プロモーション
有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役	クリス・グレン	PR・プロモーション
株式会社KADOKAWA 「東海ウォーカー」副編集長	嶋村 光世	PR・プロモーション
名古屋短期大学 英語コミュニケーション学科長	辻 のぞみ	PR・プロモーション
東海学園大学 経営学部 客員教授	○ 横山 陽二	PR・プロモーション

◎…委員長兼部会長、○…副委員長兼部会長

(別表2)

所属・職	氏名
名古屋商工会議所 商務交流部 流通・観光・街づくりユニット長	山形 佳史
(一社) 中部経済連合会 企画部 部長	岩附 一人
(公社) 日本観光振興協会 中部支部 事務局長	西村 哲治
(一社) 愛知県観光協会 専務理事	鈴木 隆